

自転車安全教室の実施について

生徒指導主事 城戸 正剛

7月7日(木)スタントマンによる自転車安全教室が行われます。夏休みを迎える前に全校生徒に自転車の乗り方やマナーを再確認してもらう良い機会になると思います。また、本校自転車通学生(一部)の乗り方が良くないと地域の方々からご連絡いただくことがありました。特に、四ツ角の交差点付近(北陸銀行周辺)は通学時に小学生の登校時間や大人の出勤時間とも重なり、加害者にも被害者にもなり得ます。ここを通る生徒を対象に指導及び注意喚起を行いました。ご家庭でも再確認をお願いします。指導内容は以下の通りです。

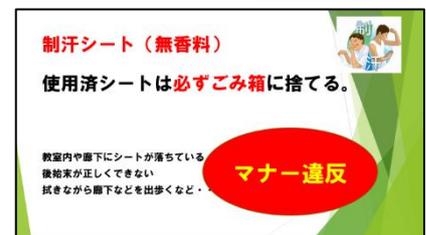
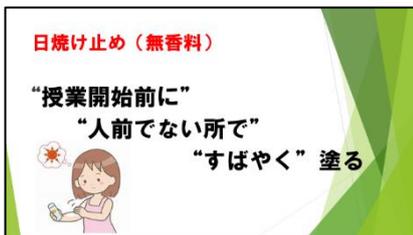
- ① 自転車は原則、車道を走行する(左車線)
- ② 交差点付近はスピードを落とし、いつでも止まれるようにする
- ③ 歩道は歩行者優先(通行する場合は、車道寄りを一列でいつでも止まれる速度で通行する)

日焼け止め、制汗剤について

思春期である中学生の時期は、自分の“汗の匂い”を気にすることがあります。これを大人へのステップアップとして日焼け・制汗用品の使い方、マナーを学ぶ機会と捉え、これまで認めていた日焼け止め用品や制汗スプレーに加え、昨年からは制汗シートの使用を認めています。使用する場面や使用時のマナーを確認し、誰もが気持ちよく過ごせるように、一人一人がマナー違反をせずに過ごしてほしいです。

- ① 日焼け止め・制汗スプレー・制汗シートいずれも“無香料”のものとする。
- ② ルール違反・マナー違反がある場合には中止の可能性もある。

*生徒説明は以下のようにしています。



なぜ今、音読が重要なのか?

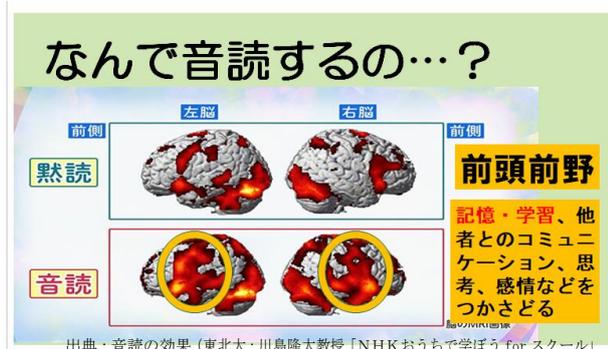
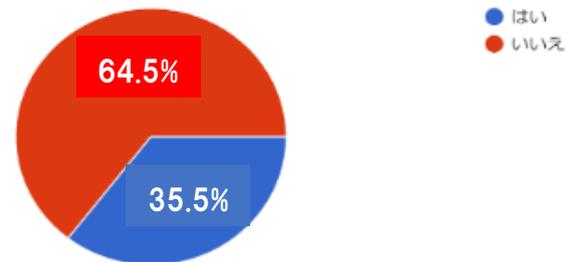
研究主任 鶴山 達也

昨年度から、津幡中学校では英語科を中心に音読による学習を推進しています。今年度に入ってから数回、音読の実施状況のアンケートを取っていますが、決して高い数値とは言えないのが現状です。

今月の全校集会では、音読の必要性について科学的根拠を交えて話をしました。

あなたは家で英語の音読練習に取り組んでいますか？

6月学習アンケートより



脳科学の権威である東北大学の川島教授によると、左図のように黙読と音読では脳(特に記憶をつかさどる部分)の活性化状況が大きく異なるということです。ただ黙って教科書を読んでいるだけでは、情報は流れていくだけですが、声に出して発音することで、発音がうまくなることはもちろん、文と文のつながりが見え読解力の向上にも役立つという研究結果も出ています。

7月8日(金)の朝学習の時間帯に、全校一斉の音読学習を行い、どのような方法でどんな風に学習するのかを説明します。その際重要なことは、聞き手がいることです。家庭学習の中で音読を習慣化させるためには、生徒の聞き手となる保護者の方の協力が必要です。ぜひ、親子一緒に英語の音読学習を始めてみませんか？

8月の行事予定のお知らせ

8月24日(水)は1, 2年生の学年登校日となります。よろしくお願いいたします。